

平成26年6月9日

( 選 択 )

No.120

致知4月号は「少年老い易く学成り難し」が特集となっています。  
「少年老い易く成り難し。一寸の光陰軽んずべからず」未だ覚めず  
ち<sup>ひ</sup>塘<sup>うたが</sup>春<sup>はる</sup>草<sup>くさ</sup>の<sup>の</sup>夢<sup>の</sup> 階<sup>か</sup>前<sup>まへ</sup>の<sup>の</sup>悟<sup>ご</sup>葉<sup>は</sup>芭<sup>ば</sup>芭<sup>ば</sup>に<sup>に</sup>秋<sup>あき</sup>声<sup>こゑ</sup>」月日のたつのは早く、未だ  
若<sup>わか</sup>いと思<sup>おも</sup>っているうちに歳<sup>とし</sup>もしてしまいが、学問はなかなか成就し  
難<sup>がた</sup>い。若<sup>わか</sup>いうちから、一刻もむだに過ぎさず学問に励まなければ  
ならないというこゝ。毎日かまたたく間に過ぎ、1週間も短いです。  
6月に入りました。やろうと思つたこと、思うだけで、先延ばし、明日  
からやろう、来週からやろう、やらずに歳だけほとしてしまひます。歳を  
とれば、歳もとり過ぎたから出来ないと成ります。繁盛している店  
業績の良い会社、成長している人達は、お客様から喜んでもらう、店  
頼も得子為、寸分も欲はず、知恵を出し、若し早、行動をしています。  
歳をとるのは誰でも同じですが、時間の使ひ方は、選択です。今何  
をするか、本を読む、勉強をする、人と会う、ゴルフをする、酒を飲む、  
音楽をする、開発をする、それぞれ自分で決定し選択して行きます。  
学ぶのもよし、ゴルフをするのもよし、自分の人生だから自分の決定です。  
過去に選択・決定したことが、今であり、これから選択決定した  
こゝの結果が数年後に現れます。楽くなるか、苦くなるか。  
経営者は、社員に喜びを与えなければなりません。社員に  
の喜びは給料が上がるこゝかもしれません。真の喜びは、お客様  
に感謝されるこゝ。仕事に誇りをもちやりがいを得るこゝ、喜ん  
だこゝだと思ひます。楽しい時間を長くつくる。時間の使ひ方次  
第です。繰り返して同じことをするだけでなく、新しい事を見つける。目  
標を創造する。挑戦、毎週何か新しい事、違う行動をする。年齢  
関係なし、新たな行動する人が、「少年老い易く学成り難し」学ぶ  
人だと思ひます。

高村幸裕